

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
61221	会議録作成等事務	議会事務局	議事調査課	シートA	2
61221	市議会だより発行事務	議会事務局	議事調査課	シートA	3
61221	「ようこそ市議会へ」関連事務	議会事務局	議事調査課	シートA	4
61221	議会図書室管理事務	議会事務局	議事調査課	シートA	5
62111	委員会視察関係事務	議会事務局	議事調査課	シートA	6

令和4年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	議事担当	連絡先	948-6679			
	部等長名	黒川 泰雅	課等長名	水田 隆敏	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	宮川 孝司	主事	加地 宏亙
令和3年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	議事担当	連絡先	948-6679			
	部等長名	中島 郁	課等長名	河野 直充	リーダー名	副主幹	担当者名	主査	宮川 孝司	主事	加地 宏亙

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61221	会議録作成等事務	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	市民参画を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	市民参画による政策形成			主な取り組み	-	
主な取り組み	行政情報の発信		市長公約	-		
取り組みの柱	広報紙やホームページ、SNS、パブリシティ活動などとおして、広報活動の充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	地方自治法第123条、松山市議会委員会条例第26条、松山市議会会議規則第83条～第86条					
事業の目的(どのような状態にするか)	会議録・委員会記録の作成、また、インターネット中継を行うことにより、会議公開の原則に基づく公表を行うとともに、公の証書類として記録を残す。市議会ホームページ等で本会議録及び委員会記録を広く公開し、会議公開の原則に基づく公開を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	(会議録・委員会記録作成)市制施行による松山市議会設置及び上記地方自治法の適用を受けたため。(会議録検索システム)会議録のデータ増大に伴い、検索事務の迅速化を図るため導入した。(本会議のインターネット中継) ・ライブ中継については、議会改革特別委員会で検討した結果、平成19年6月定例会から実施された。 ・録画中継については、地域主権検討特別委員会で検討した結果、平成25年6月定例会から実施された。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	全市民(市外を含む。)に対して、本会議録の反訳及び印刷製本及び委員会記録の反訳を行い記録を残すほか、本会議インターネット中継(ライブ・録画)を行うとともに、インターネット上での検索システムによって、本会議等の開催内容を広く公開する。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	議会費		目	R3予算措置時期	
				項	議会費		当初	繰上
				R2年度	R3年度	R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				5,350	5,083	4,734		
決算額(B)(単位:千円)				4,618	4,700			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0	0	0		
	県支出金			0	0	0		
	市債			0	0	0		
	その他			0	0	0		
	一般財源			4,618	4,700	4,734		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算					需用費:63千円 委託料:4,307千円 使用料及び賃借料:330千円	需用費:23千円 委託料:4,381千円 使用料及び賃借料:330千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等								
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	732	383		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 本会議録の作成 委員会記録の作成 本会議のインターネット中継(ライブ・録画) インターネット上での会議録検索システムの運用 						
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	予定どおり会議録等の作成やインターネット中継を実施できた。検索システムの円滑な運営を行うことができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本会議録及び委員会記録を広く公開することができたため。				
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	<ul style="list-style-type: none"> 本会議録、委員会記録作成業務委託はR3年度から3年間の契約を締結 本会議録と委員会記録では、表記や見やすさにばらつきがある。 本会議録と委員会記録は、公開までに一定時間を要する。 			環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組み改善策	<ul style="list-style-type: none"> 本会議録の表記の統一を図り、改行等を増やすことで見やすくする。 会議録等の作成スケジュール管理を徹底し、業務改善を行うことにより、早期に公開できるようにする。 		
R4年度の目標	誰もが見やすい会議録等を迅速かつ正確に作成し、スムーズに公開することを目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> 本会議録の作成 委員会記録の作成 本会議のインターネット中継(ライブ・録画) 検索システムの運用 		

令和4年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	広報広聴担当	連絡先	948-6652		
	部等長名	黒川 泰雅	課等長名	水田 隆敏	リーダー名	主幹	担当者名	主任	大内 紀子	
令和3年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	広報広聴担当	連絡先	948-6652		
	部等長名	中島 郁	課等長名	河野 直充	リーダー名	主幹	担当者名	主任	大内 紀子	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61221	市議会だより発行事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	市民参画を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	市民参画による政策形成			主な取り組み	-	
主な取り組み	行政情報の発信		市長公約	-		
取り組みの柱	広報紙やホームページ、SNS、パブリシティ活動などとおして、広報活動の充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	無し					
事業の目的(どのような状態にするか)	開かれた市議会という視点を立て、市議会の活動状況を広く市民に広報し、議会に対する理解と認識を深めていただくことを目的としている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和22年4月の地方自治法制定に伴い、地方議会の運営方針が画期的に更新され、議決機関である市議会及び委員会の活動が恒常的性格を帯びようになったことから、市議会の活動及び市政の状況を広く知っていただくために、昭和23年7月に「松山市会月報」として創刊した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市内全世帯に年4回(5・8・11・2月)、定例会の概要等を中心に市議会の活動をわかりやすく編集したタブロイド判8ページの「まつやま市議会だより」を配布している。(発行部数:245,000部)また、目が不自由な方のためにカセットテープ・CDでの音声版市議会だよりや点字版市議会だよりを作成し、希望者に無料で配布している。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	議会費		目	議会費		R3予算措置時期	当初
				項	目		目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					14,731		13,157			13,137
決算額(B)(単位:千円)					11,524		11,020			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		192		172			182
			県支出金		96		86			91
			市債		0		0			0
			その他		0		0			0
			一般財源		11,236		10,762			12,864
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						印刷製本費(普及版): 5,606千円 印刷製本費(点字版): 382千円 配送業務委託料(普及版): 4,886千円		印刷製本費(普及版): 7,700千円 印刷製本費(点字版): 413千円 配送業務委託料(普及版): 4,898千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		3,207		2,137			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	年4回各定例会翌々月に発行し、市内全戸に配布する。 ・市議会ホームページに掲載し議会活動を広報する。 ・代表質問、一般質問の内容を中心に定例会・臨時会の概要等を掲載し、議会活動を周知する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年度4回の発行について遅延なく発行することができ、市議会ホームページにも掲載することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	定例会ごとに、掲載に適した記事を作成することができたため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	近年質問議員数の増加により、質問・答弁内容を、イラストの削除や文字サイズの縮小により紙面におさめているが、読みづらいレイアウトになってしまうのが課題である。また、音声版市議会だよりでは60分テープにすべての記事はおさまらないため、内容を一部省略している。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	より見やすく、分かりやすくするため、全体のレイアウトを工夫する。また、文字サイズを大きくできるよう、内容を精査し、的確かつ端的に表現する。引き続き二次元コードに掲載しホームページへの誘導に繋げていくことで、様々な市議会活動状況を市民に広報する。	
R4年度の目標	より多くの市民に議会活動を周知するために、内容やレイアウトを工夫し、より分かりやすい紙面となることを目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・年4回各定例会翌々月に発行し、市内全戸に配布する。 ・市議会ホームページに掲載し議会活動を広報する。 ・代表質問、一般質問の内容を中心に定例会・臨時会の概要等を掲載し、議会活動を周知する。	

令和4年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	広報広聴担当	連絡先	948-6652
	部等長名	黒川 泰雅	課等長名	水田 隆敏	リダ-名	主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	広報広聴担当	連絡先	948-6650
	部等長名	中島 郁	課等長名	河野 直充	リダ-名	主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61221	「ようこそ市議会へ」関連事務		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】			笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	市民参画を推進する				重点プロジェクト	-	
施策	市民参画による政策形成				主な取り組み	-	
主な取り組み	行政情報の発信			市長公約	-		
取り組みの柱	広報紙やホームページ、SNS、パブリシティ活動などとおして、広報活動の充実を図ります。				-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	無し						
事業の目的(どのような状態にするか)	市政及び市議会活動への関心と理解を深めてもらうとともに、議会に親しみを持ってもらい、一人でも多くの市民に議場に足を運んでいただくことを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	より一層開かれた議会を目指し、平成15年度から、本会議場を会場とし、講演や演奏を楽しむ「親しまれる市議会をめざして〜今、議場がもしろい〜」と、小学生による模擬市議会「松山子ども市議会〜松山市議会に親しむ一日〜」の開催を始めた。また、地域主権検討特別委員会で本会議の開会前にミニイベントを開催することを決定し、平成24年度から実施している。なお、子ども市議会については、子どもたちの夏休みの自由研究にも活用していただくなどの目的で、平成27年度から夏休み期間に市内の小学生(高学年)とその保護者を対象とした「夏休み親子市議会体験ツアー」に変更した。また、平成28年度から「親しまれる市議会をめざして〜今、議場がもしろい〜」は目的が同じである「議会開会前ミニイベント」に統合して実施している。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市民全般を対象として事業を実施している。 下記イベント参加者や定例会傍聴者に対し、市議会の概要をまとめたパンフレットを配布し議会への認識を深める。 1. (夏休み親子市議会体験ツアー)本市の小学生を招き、議場等の議会施設の見学や子ども自らが議員や理事者役となり模擬市議会の体験ができるイベントを開催し、議会の役割などを知ってもらう。 2. (議会開会前ミニイベント)本会議開会前の議場で生演奏を楽しむミニイベントを開催することにより、傍聴者を増やす。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	15	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	議会費		目	R3予算措置時期	
				項	議会費		当初	繰上
				R2年度		R3年度		R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)					34	34		34
決算額(B)(単位:千円)					30	0		0
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0	0		0
	県支出金				0	0		0
	市債				0	0		0
	その他				0	0		0
	一般財源				30	0		34
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算							報償費:30千円 消耗品費:4千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						新型コロナウイルス感染症の影響により未執行		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	4	34		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	議会開会前ミニイベント及び夏休み親子市議会体験ツアーは、新型コロナウイルス感染症の影響によりR3年度の開催を見送った。						
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、議会開会前ミニイベント及び夏休み親子市議会体験ツアーは開催を見送った。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	3:貢献していない	左記の理由		新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、議会開会前ミニイベント及び夏休み親子市議会体験ツアーの開催を見送ったため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・市民に気軽に議場へ足を運んでいただき、今後の傍聴に繋げる目的でイベントを開催しているが、確実に傍聴者増に繋げていくための取組が必要。 ・新型コロナの影響によっては開催が困難になる可能性がある。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策	(夏休み親子市議会体験ツアー) ・本市独自の特徴的で魅力的なイベントとなるよう、内容について検討し、必要に応じて見直しを行う。 (議会開会前ミニイベント) ・より魅力的な内容での開催やイベント後に傍聴へと繋げるための効果的な案内を行う。		
R4年度の目標	内容の精査を行い、市民にとってより魅力の高いイベントとなることを目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・夏休み親子市議会体験ツアーの実施 ・議会開会前ミニイベントの実施		

令和4年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	調査担当	連絡先	948-6650		
	部等長名	黒川 泰雅	課等長名	水田 隆敏	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	合田 美奈子	
令和3年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	調査担当	連絡先	948-6650		
	部等長名	中島 郁	課等長名	河野直充	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	合田 美奈子	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	61221	議会図書室管理事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	市民参画を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	市民参画による政策形成			主な取り組み	-	
主な取り組み	行政情報の発信		市長公約	-		
取り組みの柱	広報紙やホームページ、SNS、パブリシティ活動などとおして、広報活動の充実を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	地方自治法第100条第19項、松山市議会図書室規程					
事業の目的(どのような状態にするか)	地方自治法第100条第19項、松山市議会図書室規程により、議員の調査研究に資することを目的としている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	地方自治法制定当時、議会運営に必要な資料が入手しづらい状況であったことから、議会図書室を必置としている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	議員の調査研究に資するため、資料等を購入し配架する。 1. 新聞、定期刊行物等を購入する。 2. 新聞、定期刊行物等が届いたら配架する。 3. 「議会図書室だより」を作成し、議員に新着図書等をお知らせする。 議員を対象としているが、市議会関係者及び本市職員に議会図書室を利用させることができる。ただし、議長が必要と認め時は市民も利用することができる。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	議会費		目	R3予算措置時期		
				項	議会費		当初	繰上	
				R2年度	R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					2,734		2,730		2,732
決算額(B)(単位:千円)					2,572		2,668		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
	一般財源				2,572		2,668		2,732
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算						消耗品費:2,668千円		消耗品費:2,712千円 備品購入費:20千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	162		62		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	定期刊行物等の資料購入、配架 ・「議会図書室だより」作成、配布 ・図書室内の整理					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	資料の充実を図ることができた。 図書室だよりによる利用の促進を周知することができた。 図書室の整理を行い、利用しやすい環境が整備された。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	議員の調査研究に資するよう適切な図書を購入し、議会の調査能力の強化に貢献しているため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	インターネットの普及等により、資料の検索や入手が容易になったため、図書室の利用が減ってきている。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	市立図書館との連携による図書室の活用の周知を行うとともに、議会図書室だよりを通じて、新着図書や定期刊行物の案内を行い、環境の整備と利用の促進を図る。	
R4年度の目標	引き続き資料の充実や書庫の整理による環境の整備に努め、利用の促進を目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・定期刊行物等の資料購入、配架 ・「議会図書室だより」作成、配布 ・図書室蔵書データの公開(職員ポータル) ・図書室書庫の整理	

令和4年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	議事担当	連絡先	948-6679				
	部等長名	黒川 泰雅	課等長名	水田 隆敏	リーダー名	副主幹	佐名木 美和	担当者名	主査	宮川 孝司	主任	森 祐樹
令和3年度	部局等名	議会事務局	課等名	議事調査課	担当グループ名	議事担当	連絡先	948-6679				
	部等長名	中島 郁	課等長名	河野 直充	リーダー名	副主幹	佐名木 美和	担当者名	主査	宮川 孝司	主事	加地 宏亙

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62111	委員会視察関係事務				事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する					重点プロジェクト	-		
施策	地方分権・地方創生に対応する体制の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	自主的・自立的な行政の推進				市長公約	-			
取り組みの柱	財源措置を伴う権限移譲などに向けた働きかけを国等に行うとともに、国などの政策決定後の受動的対応ではなく、積極的・能動的に地域の実情に応じた政策形成を行うなど、基礎自治体としての自主性・自立性の向上を図ります。					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		地方自治法第100条第13項、松山市議会会議規則第105条、松山市議会における委員の派遣に関する要領							
事業の目的(どのような状態にするか)	議案の審査又は本市の事務に関する調査を行うことで、市の政策や議会運営に反映させる手法のひとつとして役割を果たす。								
背景(どのような経緯で開始したか)	市制施行による松山市議会設置及び上記地方自治法の適用を受けたため。								
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	6常任委員会(総務理財、文教消防、市民福祉、環境企業、都市整備、産業経済)、議会運営委員会及び特別委員会(設置された場合)の委員に対し、他の自治体等の先進的な取組や制度、施設について座学や見学等を実施(随行職員は1名とする)。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	議会費		議会費		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目		
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				9,100		9,100		9,100	
決算額(B)(単位:千円)				36		0		0	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			36		0		9,100	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								旅費:9,100千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						新型コロナウイルス感染症の影響により、未執行			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		9,064		9,100	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	6常任委員会(総務理財、文教消防、市民福祉、環境企業、都市整備、産業経済)、議会運営委員会及び水資源対策検討特別委員会の視察を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は県外の先進地視察実施を取り止めた。 替わりに、市内施設等の視察やオンラインによる先進地視察、専門家による勉強会を行うことで見識を深めた。								
主な取組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		新型コロナウイルス感染症の影響により、県外の先進自治体視察ができなかった。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		当初予定の県外先進地は視察できなかったものの、専門家を講師に招いた勉強会開催や、市内施設等の視察を行うことで議員の資質向上、議会の活性化につながっているため。					
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響によっては視察実施が困難になるため、先進地の取組について直接見聞することができなくなってしまう可能性がある。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取組み改善策		県外の先進地視察が実施できない場合に、市内及び近隣市町の施設等の視察や、オンラインによる先進地視察を行うなどして先進事例を学ぶ。		
R4年度の目標	委員会の調査研究等の成果に資するよう、各委員会ごとに年1回、効果的に視察を実施することを目指す。				R4年度の主な取組み内容(予定含む)		6常任委員会(総務理財、文教消防、市民福祉、環境企業、都市整備、産業経済)、議会運営委員会による先進地への委員会視察を行い、見識を高め議員の資質向上に繋げる。		